

【第2回なかの保育園三者懇談会】

◆ 日 時 平成19年10月2日（火） 17時45分～

◆ 場 所 なかの保育園

◆ 出席者 なかの保育園保護者20名

◆ 内容等

市⇒ 市役所

な⇒ なかの保育園

保⇒ 保護者

台⇒ 台太郎保育園

市 ただいまから保護者、移管先法人、なかの保育園を含めて市の三者による第2回三者懇談会を開催する。児童福祉課長より挨拶を行う。

市 平日の夕方にかかわらず、多くの方にご出席をいただきありがとうございます。今回は、先にお配りしている民営化移管計画案について説明を申し上げ、ご意見をいただく。日曜日にも懇談会を開催したが、その際には施設に対する要望が多く出された。それに対しては、法人の方では考えていらっしゃるようだ。建築基準法上の関係や交付金上の関係もあるが、これについては可能な限り皆さんのご意見を反映させたい。

台太郎保育園の施設を見学するという話があった。日を改めて、見学していただきたい。

なかの保育園選定委員会選定委員と一緒に台太郎保育園の施設見学をした際に、この設計は、保育園を数多く手がけている設計士が行ったものかと聞いたところ、そういうわけではないということだった。経験豊かな保育士の意見を聞いて、それが施設に配慮されている。皆さんにもぜひ見ていただきたい。

それでは、ただいまから始めさせていただきます。

市 今までは説明会だったが、今後は三者懇談ということでこのように丸く座って進めたいと思う。

台 台太郎保育園園長の中村ミサと申します。30日にも話したが、皆さんに喜んでいただけるような保育園にしたい。どうぞよろしく申し上げます。

台太郎保育園の村上奈穂子と申します。よろしく願いいたします。子どもたちが生き活きと過ごせるようになかの保育園の先生方と一緒に努めてまいりたいと思います。

市 早速懇談に入りたい。なかの保育園の移管計画の第1期について、説明させていただく。

市 なかの保育園の移管計画案の第1期について説明させていただく。説明後に出席していただいている保護者の方一人ひとりから質問・意見・要望をお伺いしたい。

***** 説明を行う *****

市 皆さんから一言ずつでもお願いしたい。

保 今年4月からこちらにお世話になっていて、それまでは、私立保育園にお世話になっていた。現在でも公立と私立保育園の違いがわからない。子どもたちにいろんな活動をさせてほしい。満足できる活動をしてほしい。園と保護者が円滑に情報を交換できたりすれば良い。今でも非常に保育士が時間を割いて、保護者と話をする時間を設けているし、親が安心して預けられる保育園であれば良い。

よくわからないが、保育園と保護者でうまく子育てができたらと思う。

台 保育園と保護者の方々と一緒にということだが、今の台太郎保育園も大切に考えて行っている。

保護者との連絡方法については、朝夕の保護者との連絡のほか、0歳から5歳まで連絡ノートを使っている。卒園するまでに30冊前後になる方もいる。大きくなって、(あなたは) ああだったこうだったと言わなくても、連絡ノートを見るだけでも、様々な方に育てられたのだという思いになってくれるよう、願いを込めて行っている。一度、連絡ノートをやめようかという話になったが、保育園は大変だけれど、保護者の方からもぜひ続けてほしいということで、連絡ノートは続けている。

なかの保育園でも参観日を行っているかと思うが、台太郎保育園では全員で参加することではなく、年間を通して保護者の方の都合の良い日を選んでいただき、参観していただいている。それを「鐘が鳴る会」といっているが、「鐘が鳴る会」に参加した保護者は、1日園長になれるということにしている。3歳以上児の保護者の方が来たときは、児童を集めて保護者を紹介している。

そのときは、保護者の方にはご飯を持ってきていただいて、副食は保育園で提供する。こういう内容や雰囲気や給食をしていることについて理解していただいている。

その後、担任を中心として懇談する。台太郎保育園は0歳から5歳までの個別記録も行っているので、担任が見た自分のクラスの子どもについて、担当保育士の見た視点と記録を持って指導計画を立てている。

職員会議のときは、前もって児童の記録を渡すことにより、クラス担任だけでなく保育所全体で把握できる。担当クラスの児童以外の子どもについても見たり、触れ合うこともできる。

担任が見ていない部分も他の保育士が見て、プラスになる。

保 今のままの保育園の保育内容のままで良いと思う。

保 話が難しいが、今のままで同じようをお願いしたい。

保 同じだ。

保 今の保育内容を続けていただければ良い。

保 子どもたちが毎日外で遊んでいたり、山登りしたり、毎日保育園に来るのが楽しくて来ているので、移管しても子どもたちが毎日保育園に楽しく来られるようにしてほしい。

保 外の遊具が点検なのか、使えない状態になっているが、すごくもったいない。遊具にも意味があるので、危ないから使わせないというような形でなく、安全な遊具を置いて

ほしい。

台 年齢にあった遊具などそろえていきたいと思う。台太郎保育園では、3ヶ月に1回ほど定期的に遊具点検を行っている。なかの保育園になったとしても同じようにやっていきたい。

保 外で遊ぶ遊具を作ってほしい。

保 先ほどの市の説明で移管計画案の7番目（の項目）を飛ばしたので、説明をお願いしたい。次世代育成支援施設整備交付金について、もし採択にならなかった場合は考えていられるのか。

市 大変失礼した。7番については、移管先法人決定についての地域への報告ということで、移管先法人の選定の経過及び結果について、地域の代表へ報告することとしており、なかの地区町内会連合会に8月に伺って、選定の経過および結果と法人の紹介を行った。

また、次世代育成支援対策施設整備交付金について国で採択されない場合は、平成20年度に園舎改築が行われない形になるので、民営化が延期になる。盛岡市のように待機児童が非常に多い場合には、優先的に採択されるかと思う。なかの保育園を現在の90名から120名にし、乳児保育を新たに行うこととするので、市としては採択されるよう最大限努力する。

保 今の保育と民間保育の違いがわからない。先生が変わること以外に園児や保護者に影響があることはあるのか。

市 来年の4月から再来年の3月までの引継保育期間中は、あくまでなかの保育園の保育を行う。それに関して移管先法人から4月から主任保育士1名が来ていただき、2名の主任保育士体制となる。そのほかに定期の人事異動で2名が他の保育園に転出し、そこに新たに移管先法人から2名の保育士が来る。さらに10月からは、臨時保育士が3人任期切れとなり、代わりに新たに移管先法人から3名の保育士に来ていただく。必ず各クラスに移管先法人からの保育士が入って、今現在のなかの保育園の保育内容を学んでいただき平成21年から運営法人が変わっても、同じように保育を行っていただく。引継保育期間中に保育が変わるということはない。

保 実際に始まってみないとわからないが、特に質問はない。固くならないで臨機応変に、子供たちのことを考えて妥協する部分もある程度あればいいと思う。

保 職員の人事異動に伴う引継ぎについての質問がある。津志田保育園の話を知ると、1クラスだけ正規保育士が欠けた状態で引継保育を行っているようだが、そのような形にならないようにしてほしい。

また、それについての考えを児童福祉課から聞きたい。また、それに対しての村上保育士の考え方を聞かせてください。

市 今現在の津志田保育園の状況ということになるけど、最初は定期人事異動で2名が異動する予定だったが、3月になって急に定年前の保育士が辞めた。こちらで計画していたものとは違った形になっている。2歳から5歳までのクラスには、津志田保育園の保

育士と川目保育園からきた保育士が10月からペアになっている。1歳児のクラスは公立側の保育士がいない状態だ。

しかしながら、主任保育士が2名体制で行っているが、主任保育士がクラスに入りながら、その他臨時保育士等から情報を聞きながら引継ぎを行っている。

なかの保育園についても、引継保育を行う状況なので、人事担当課へはもちろん話をする。

しかしながら、なかの保育園の保育士が急に辞めるということになると同じようになるかもしれない。ただそういったときに困らないように、なかの保育園の保育士にマニュアルを作っていただくこととしている。ここにあるのは、四日市市で作っている保育のまとめだが、日々の保育士の動きや配慮についてまとめている。それをなかの保育園のバージョンで作っていただいて、引継保育に入る方に渡して、保育を実践したいと思っている。来年の3月の状況は、はっきりわからないけど、できるだけ同じクラスでペアになって引継保育ができるようにと考えている。

台 今お話をしてくださったように、不安なことがあるかもしれないが、そういうときにも子どもと保護者のことを第一に考えて、じっくりゆっくりと話し合いながら進めていきたい。硬くなるのではなくて、ここはこういう風にしたほうが良いと考えたときには、臨機応変に進めていきたい。

保 ペアでなければ、引継ぎとはいえないと思うので、それは絶対にお願ひする。

保 現在は、バラ組から連絡ノートが無くなっているけれど、台太郎保育園はあるのでそれは良いと思う。そういう試みは非常に良いと思う。

保 聞きたいことが三つあるが、一つは、村上保育士が10年経験したと思うが、先生の経験年数を教えていただきたい。

もし、わかっているのであれば、何年くらいの経験の保育士がなかの保育園へ派遣されるのか。

小学校に入る前の民営化の中に大事な1年間が入るが、そこにあたっての子どもたちへの配慮を聞かせてほしい。

台 私は12年の保育士経験だ。0歳児から5歳児までの担当を経験している。主任保育士は前回まで、4年間経験を経ている。台太郎保育園は主任保育士であっても交代することとしている。今年は違う方が主任保育士を勤めている。私は来年度からなかの保育園の主任保育士としてお世話になる。今は1・2歳児の代表者ということで全体を把握する内容で、フリーの保育士となっている。

市 引継保育は来年の4月に3人来る。うち1人は、こちらの村上保育士となる。残りの2人は、担任の保育士となる。10月からは、臨時保育士の任用期限が切れるところに、さらに移管先から3人の保育士が来る。全体では保育士が5人来て、クラス担任に入る。その他、主任保育士については保育全般を見ることになる。このような体制で引継保育を行っていく。

台 移管の公募条件では、主任保育士は保育士経験 10 年以上、保育士は 5 年以上となっていたので、10 年以上の経験者が主任保育士を含め 2 名、一番経験の浅い職員が 6 年で、うち男性保育士が 1 名だ。

保 4 月から来る 3 名の保育士のうち 1 名が男性保育士ということですか。

台 はい。

な 引継保育の人数のところ、みなさん誤解があるかと思うので、お話しする。4 月から主任保育士が 1 名来る。これは人数に入らない。2 人が異動することになっているが、現在なかの保育園は保育士が 1 名欠員だ。そこに臨時保育士が 1 名入っている。

それなので来年の 4 月は、主任保育士は 1 名増える。なかの保育園の保育士は 1 名欠員なので、現在の保育士から 1 名の異動だけで済む。10 月からは、保育士が 3 名辞めるのではなく、申し訳ないが臨時保育士の期限をそこまでとする。そこに台太郎保育園から保育士が 3 名入ってくる。

ここは、児童福祉課長に頑張ってもらいたい。

保 皆さんに期待している。

保 市役所に要望確認したいことが 4 点。台太郎保育園に 1 点確認したいことがある。民営化について昨年説明があったときは、正規保育士は 1 名のみの異動だった。市役所に配慮していただいて感謝する。それを引継保育期間中、人事異動を凍結していただけないか。他の保護者の方も言っていたが、なかの保育園の正規保育士と台太郎保育園の正規保育士がペアを組んでいただきたいのが第 1 希望だ。子供たちの 2 年後に移管する際に心のケアの面で、そのままスムーズにやってほしいのが強い希望だ。

園舎が 1 月くらいにできる予定になっているようだが、こちらの移管計画案にもあったが、慣らし保育の内容だが、通園して慣らししていくのか。冬に子どもたちをなかの保育園の保育士が送り出して、むこうの新しい園舎で先生方が待っているのか。そういうところも融通を利かせて配慮してほしい。

後々園舎が解体される際に、40 年の歴史のある卒園児が集まってのセレモニーを市で検討していただけないか。

120 名定員の件だが、効率の面からいうと 90 名が一番良いというように言っているが、なぜ増やしたのか説明をいただきたいと思う。

市 人事異動の凍結の話だが、なかの保育園の保育士は現在 1 名欠員となっている。来年度の人事異動は 1 名の人事異動で最小限の異動になるかと思う。しかし、これは私より課長が人事権をもっている、保護者の方の気持ちを汲み取って、今年度と同様に人事当局に働きかけていただけるものと思う。

慣らし保育の内容は、移管計画案第 2 期のところになり 4 ページの(10)のところに書いてあるが、保護者の方から、平成 21 年の 4 月に保育士も変わり、建物も変わるということで児童への影響がダブルにあるということの話を聞いていたので、こちらとすれば、1 月頃に新しい園舎ができて、園舎をお借りしながら徐々に子どもさんが慣れてい

ただくというようにしたいと思っている。

解体によるセレモニーができないかということだが、現在の園舎についてどうするか白紙だ。近いうちにこの園舎の解体・あるいは利用について検討していくこととなる。地元の町内会や学校からこのままで貸していただけないかというところもある。

市の内部でこれから跡地利用などを検討して、その結果については保護者の方にお知らせしたいと思う。

もし、仮に解体することになれば、セレモニーについては盛大なものでもなくてもいいと思うが、皆さんの思いが伝わるように考えたい。

120名定員の件だが、川目保育園の園長が、90名定員が一番良いのだといっているが、市では保育園にお子さんを預かっていただく場合に運営費をお支払いしている。定員90名の場合で0歳児の場合は月に15万円くらいになるが、120名になると14万円くらいに単価が下がるが、90名から120名にすることで、国で定める最低基準以外に保育士の義務付けが多くなる。保育士を配置しなければならないし、調理員も追加しなければならない。経費はかかるが収入は単価が少なくなるので、定員90名がよいということを行っている。

なぜ120名にしたかについてだが、市では、保育所の定員は、新設や定員増などで、ここ5年で270名くらい定員を増やしているが、残念ながら待機児童は減っていない。

幼稚園は需要がずっと減ってきているが、保育園については需要が増えている。今現在も保育園に入れなくて待っていただいている方が多い。保育所を民営化するにあたって、待機児童を解消する、保育サービスを向上するというところで進めているので、なかの保育園が新築する際には定員を増やすことを条件とした。面積的にも移転先は3,000㎡あり、定員が120名の保育園を建設するにも十分な広さがある。市としては子育てと仕事の両立を図るために定員を増やさせていただいた。

市 先ほどの人事異動の件だが、私に力があればということだが、残念ながら全く私には権限がない。課内の人事異動のみだ。何故こういう風になったかという、第1回目の保護者説明会で聞いた皆さんの気持ちを総務部に伝えた。その思いは、十分に理解できるということで、可能な限り人事異動は最小限にするという約束を取り付けたものだ。最小限といったのは、本人のたつての希望がある。例えば退職するといった場合は、とどめ置くことができない。保護者の希望に沿うような形で最小限にしたい。平成21年に向けても改めて保護者の意向を総務部に伝える。

保 人事異動の件については期待している。お金の話はよくわからないけれど、120名の定員になれば、児童1人あたりの単価が下がるというのはわかる。

もう1歩先に進んで単価を据え置きにすることを期待している。今なかの保育園はこじんまりしたところが良いところだ。90人定員だからであって120人になってマンモス保育園になった場合、様々配慮してほしい。

保 特に質問はない。

保 現状は、送り迎えの際の車が路駐になっているが、子どもの乗り降りするときに危険
だと思うことがあるが、新しい保育園では駐車スペースはどれだけ確保されているのか。
市 台太郎保育園から出されている設計図面では 10 台になっている。その他職員用の駐
車場もある。玄関から大きくひさしが出て、車が玄関に横付けできるようになっている。

雨の日に踏み板を踏みながら玄関まで来ていただいて、皆さんにご迷惑をかけており
ます。

設計図面については、決まっているなら見せてほしいということなので、次回の三者
懇談会の前には、皆さんにお配りしたい。

保 4 月からなかの保育園に入所したかったが、入れずに 8 月から転園した。小さいなが
らも前の保育園の先生の名前を呼んだりして、親の都合でかわいそうなことをしたと思
う。台太郎保育園の保育士となかの保育園の保育士の引継ぎをきちんとしていただき
たい。

保 もしできるなら、今までは公立保育園ではこうだったが私立保育園になったら、ここ
がこう変わるというような台太郎保育園のアピールを出していただいてもいい。場合の
対比表を作成して提示していただけたらと思う。

契約なので、こういう条件を守るというのは当然だが、新しい保育園なのでこういう
サービスを付加するということについて説明があっても良いのではないか。新しい保育
園に預けて、本当に安心なのだということがわかれば良いのではないか。それを保障し
てわかりやすく説明していただくことが必要だ。

悪い例だが、移管後に当初話していたものと大きく違う結果になったり、公立でなく
なったときに、なんか話が違うのではないかなった場合に、保護者としては、転園が
できるようにしてほしい。転園に関しても、なかの保育園の園児については、優先的に
転園できるよう配慮していただければ、保護者としては安心ではないのか。

なかの保育園の行ってきたものをきちんと引き継いで、さらに良いもの変わって
いくのであればありがたい。

こういったものがきちんと実績として積み重なっていけば、公立の保育所を移管する
ことに対してのメリットがあるのでは。その辺を考えていただきたい。

逆に台太郎保育園の先生には、どういう風に安心させていただけるのか。方針を示し
てほしい。

情報の開示という部分も、欠席しても、議事録を渡していただくとか、NEWSに入
れていただくとかして知らせてほしい。

市 具体的に移管後の保育内容が見えない部分もあると思うが、津志田保育園でも移管前
と移管後について、どのように変わるのか対比表をつくってNEWSでお知らせしてい
る。なかの保育園においても、NEWSでどこが変わるのか、どこが変わらないのかに
ついてお知らせしていきたい。

もし、仮になかの保育園の保育が気に入らなければ、転園ができるかどうかについて

は、転園できる。転園する場合に、点数化して基準を決めているが、優先するかどうかについてはまだ決めていない。

全国的には、大方の保育所がうまくいっているが、残念ながらうまくいかないで、別な運営主体に変わっているところもある。台太郎保育園は昭和 50 年に創設されて以来、30 年にわたってきちんと保育を行ってきたのでそういうことはないものと思っている。

情報開示についてだが、これまでの 8 回の説明会及び 2 回の三者懇談会の議事録については、Web 上で公開しているが、保護者の方がインターネットに接続できる環境ではないので、枚数が多いけれども、三者懇談会の内容について保護者にお配りして、三者懇談会を行っていききたい。

課長が最初の挨拶で話したように、実際台太郎保育園の保育内容を見てみたいと保護者から要望があったので、保護者の方がまとまって見学するということになれば、市でバスを用意する。

個人の方でも、見に行ってもかまわないが、保育園の行事等で十分に対応できないことがあるかもしれないので、事前に電話をしていただいて、見学していただくようお願いする。

保 たくさんの保護者の方に参加していただきありがとうございます。今回は移管計画案の第 1 期について説明していただくのはありがたいが、内容を絞って、例えば職員体制についてとか、前にアンケートをとった中で不安が多かったところや要望の多いところが給食とか、行事の持ち方などの部分だったので、以前に採ったアンケートを絡めながら、より詳しく密度の濃い話し合いをしていければと思う。

な 最初の前段のほうで、引継保育に関しては、四日市のデイリープログラムを作って云々とあった。これについては、保育園の 1 日とか保育士の動きとか、保育士の服務規程みたいなものであり、保育士の注意するところとか事細かに書いたものだ。われわれ通常保育士が変われば、こういう引継を行っている。これは教科書どおりのものだ。

保護者会と協力して年間の行事とかについては無いので、今までなかの保育園として行ってきたものと保育所で行ったうえでの反省したものを引継書に付け加えて、一緒に保育を行っていく。保護者会と一緒にやってきた中身を見直した形で引継書を作りたい。

なかの保育園は昭和 45 年に建ったもので、遊具が使えないものがある。現在の建物は 450 m²だが、移転すると 900 m²になり倍となり、敷地も 1,500 m²から 3,000 m²となり倍となる。したがって、遊具もいろいろなものが作れるのではないか。それに伴って、行事の計画や今まで敷地の関係でできなかったものが、できるようになるのではないか。

先ほど保護者の方から、台太郎保育園から良いものが出れば、それはそれに乗っても良いのではないかという意見もあったので、保護者会と協力したものについてもなかの保育園で揃えながら、引継保育にあたりたいと思う。

保護者会の方々にもご協力をお願いすることになる。

市 もし何も無ければ、この辺りで閉めたい。1, 2ヶ月に1回程度で、もう少し絞った形で次回は進めたい。

では、今回はこれで閉めたいと思う。本日はありがとう。